

# 屋根の除雪作業中における死亡災害事例一覧(平成25年～)

北海道労働局

発生年	発生月	時刻	業種	災害の状況
25	3	11時台	小売業	被災者は、ガソリンスタンドの給油場所の上に架かっている屋根の上で、雪降ろし作業中に、天窗のガラス(幅94cm、長さ1m69cm、厚さ6.8mm)を突き破り、7.5m下の地面に墜落し、その衝撃で死亡したものの。
26	2	11時台	建設業	被災者ら3名で、屋根の雪降ろし作業で屋根(幅22.5m、奥行16.15m、高さ最高約9.4m、最低は軒の約4.4m)の端(軒付近)で雪庇を落としていたところ、滑り落ちた屋根の雪とともに、軒下に内2名(1名事業主)が墜落して雪に埋まり、2名とも死亡したものの。
27	1	15時台	建設業	被災者は、雪降ろし作業で、スコップを用い雪庇を落とす作業を行っていたところ、高さ約6メートルの屋根の端部から墜落し、その衝撃で死亡したものの。
28	2	9時台	農業	被災者ら2名で、D型倉庫の屋根に上がり除雪作業をしていたところ、明かり取り部分のプラスチック製の屋根板を踏み抜き、倉庫内に約5.7m墜落しその衝撃で死亡したものの。
28	2	13時台	建設業	被災者ら12名で、校舎の屋根に上がり、軒の雪庇を落としていたところ、立ち位置より上方の堆積雪にスコップを差したため、雪が滑り落ち、高さ約8mの軒先から雪とともに12名全員が転落し、内雪に全身埋まった2名が死亡したものの。